

父妻母逝きて送り火焚ける庭 三浦幹弘

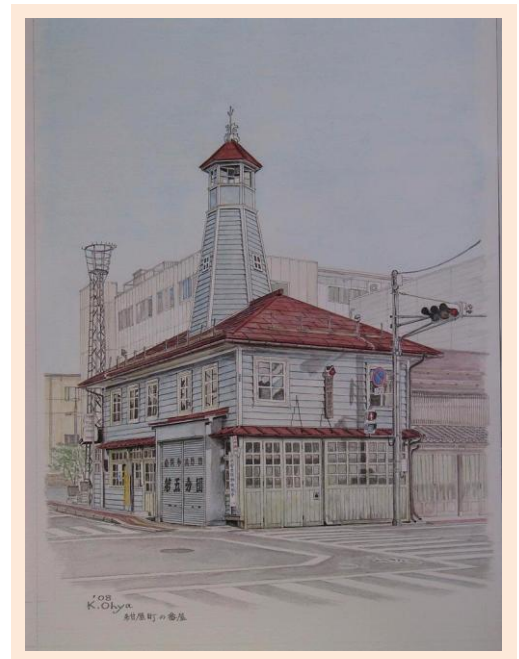
今年も、迎え火を灯し、送り火を焚いて、夏が過ぎていきます。

7月17日、小池次郎さんが亡くなりました。71歳でした。
葬儀等を終えた後の突然の知らせでした。5年ほど前になるでしょうか、例会のあと、カラオケで“さぶちゃん”を唄っていたのが、つい最近のこの様です。
お悼み申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

保 存建物の「紺屋町番屋」は、大正2年（1913年）に消防分団として建てられ、中ノ橋通にあった日新火災社屋の近くにあります。

盛岡市民にはおなじみの建築物で、屋根の上のひときわ目をひく望楼は、周囲に高い建物が建ちはじめるとともにその役目を終えました。

さらに近年、ここにあった消防自動車も近くに建てられた屯所に移されました。（大矢）



9月の行事

	支 部	みちのく損保
9月 4日（金）		ゴルフ
9日（水）	幹事会 4時～	
12日（土）		麻雀
17日（木）		釣り大会（ハゼ）
24日（木）	昼食会「しゃぶ禅」 12時※	

※出席の連絡を9月18日（金）までに、友彦さんか、伊藤さんまでお願いします。

ブラザー軒 高田渡

東一番町ブラザー軒 ガラス暖簾がキラキラ波うち あたり一面氷を噛む音

死んだ親父が入って来る 死んだ妹をつれて 氷水を食べに僕の脇へ

色あせたメリンスの着物 オデキいっばいつけた妹

ミルクケーキの音にビックリしながら

細い脛出して 椅子にズリ上がる

外は濃紺色の七夕の夜

肥った親父は小さい妹を眺め 満足げに氷をたべ 髭をふく

妹は匙ですくう白い氷のかげら 僕も噛む白い氷のかげら

二人には声が無い 二人には僕が見えない

親父は髭をふく 妹は氷をこぼす

暖簾はキラキラ 風鈴の音 あたり一面氷を噛む

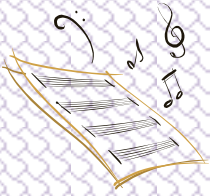
二人は連れ立って帰る 僕の前を

小さい妹が先に発ち 親父はゆったりと

二人には声が無い 二人には僕が見えない

東一番町ブラザー軒 七夕の夜

キラキラ波打つ ガラス暖簾の向こうの闇で



“NHK：FM「ライブビート」2003年4月23日オンエア”

東一番町は七夕祭りで賑わいました。（平成21年8月6日）

